

**令和2年度(2020-2021)3月度 商工会理事委員会 議事録**

日 時: 令和3年(2021年)3月17日(水) 13:00 ~ 13:40

開催形式: Zoomによるウェブ会議

出席者: 名誉会長、理事委員17名、正会員2名、オブザーバー2名、事務局長

欠席者: 理事委員4名(うち会長委任3名、代理委任1名)

司 会: 酒井一宏 幹事

**1. 商工会会長連絡 (相澤 稔 会長)**

①2 万人近くの方が亡くなられた東日本大震災から先週で10年が経った。亡くなられた方々には深くお悔やみを申し上げると同時に、その後も家に戻れないままの方、PTSDに悩まれる方を含めた被災者の皆様に深くお見舞い申し上げます。大地震に伴う原発の問題もあり、エネルギー事業に関わる身としても安全第一という原則をしっかりと心に留めて事業を運営していければと思う。

②COVID-19については、昨年のRodeo中止から早くも1年が経ち、時間の速さに衝撃を受ける。感染者数ではHarris CountyにおけるAlertレベルの緩和には未だ至っていないが、漸くワクチン接種に関しては今週から50歳以上(Phase 1C)まで枠が広がった。テキサス州のワクチン接種率は一回目接種者で16.3%、二回目8.6%と50州中で45位と出遅れており、今後のワクチン接種加速が望まれる。

③ヒューストンを襲った歴史的な寒波からもうひと月が経とうとしている。この寒波に係る義援金寄付については、メールによる特別決議にてご案内の通り、会員各社や個人からのご協力をお願い申し上げます。一方、当地の電力事情については、市場連動での電力供給を行ってきたGriddyは事業停止を受けて倒産、ERCOT改革等、様々な変化が予想されるので引き続き注視していきたい。

④補習校の卒業式がCOVID-19の影響もありながらも、3月13日と14日の二日間に亘って開催され、幼稚部・小学部・中学部・高等部から計112名が卒業した。改めて、園児・児童・生徒の皆さま、そしてご家族の皆様にお祝い申し上げます。井手校長、先生方、そして補習校運営委員会の皆様の入念な準備と運営、また福島総領事からの素晴らしいスピーチもあって、厳かで心に残る卒業式になった。

⑤新規イベントのバーチャル・ウォーキング大会は工夫された企画になっており、5月に開催を予定している。会員の皆様楽しんでいただき、商工会の中での繋がりを深めるイベントとなることを願っているため、ぜひ参加につきご検討いただきたい。

**2. 総領事館連絡 (福島秀夫 総領事)**

①バイデン米新政権下においては、発足後間もない1月末の段階ですでに、菅総理とバイデン大統領との初の電話首脳会談が実現している。その際には、なかんずく日米同盟関係のさらなる強化と、自由で開かれたインド太平洋地域の実現にむけた緊密な連携とで意見が一致し、新政権下での日米関係強化に向けて良いスタートが切れた。また後段の点については、先週に日米豪印いわゆるクワッドの電話首脳会合が行われており、地域の主要関係国が幅広く連携していくことで合意された。

これらの意見調整を経て今般、米国のブリンケン國務長官とオースティン国防長官が訪日し、日本の茂木外相および岸防衛相とのいわゆる2+2会合が実現した。ちなみに國務長官が就任後の初の外遊先として訪日するのは史上初らしく、これは現下の米新政権の外交課題においていかに対日関係が緊要であるかを物語っている。そしてその背景としては、待った

なしに切迫している中国の台頭の問題にいかにか効果的に対処していくか、という切実な問題意識がある。新政権は中国をして「世界で唯一の米国の競争国」と称した。インド太平洋地域における中国の軍事的・経済的な台頭と、人権侵害の懸念は様々な局面でにわかに顕在化しつつある。向こう 5 年間ほどで地域での軍事的優位性を確立するであろうと分析されている中国に歯止めをかけるには、日米同盟を基軸としつつ自由主義諸国が強固に連携して対応するのが現実的な選択肢と考えられ、日本もそれを強く支持している。

今後は 4 月初旬にも菅総理が初訪米し、バイデン大統領と首脳会談が行われる方向で調整が進んでいる。中国とどう向き合っていくかという緊要な問題に加え、経済交流、コロナ、気候変動、地域政策などより幅広い日米間の協力や連携について率直な意見交換が行われるのが期待される。米新政権においてこれほど対日関係の優先度が高く、連携強化に向けたキックスタートが早々に行われたことは大変喜ばしい。テキサスも含め米国主要地域での日米経済・文化交流にも好影響がもたらされるべく、このモメンタムが続いていくことを期待したい。

②すでに先月の理事委員会で頭出しさせて頂いたが、このたび国会を通過した補正予算によって海外の在留邦人の方々が独自に行う一定のコロナ対策事業について、外務省からの助成が可能となった。これは「海外在留邦人の生活・ビジネス基盤強化事業」と題されており、感染防止対策やビジネス環境作り支援策などを対象としている。具体的には感染防止のための啓発事業やイベント、日本食普及イベントなども含まれている。前回は 8 割助成と申し上げたが、最終的には上限はあるものの全額補助に引き上げられた。また申請期間も今週からこの 7 月末まで受付、そして事業実施は本年末までとなっている。詳細については、外務省の HP をご参照いただきたい。在留邦人全般に幅広く開かれた事業が対象となる由であるが、全額補助となるなど当初想定より使い勝手は向上しているもので、ぜひ積極的にご検討をいただきたい。具体的なご相談については、当館担当の小峯領事までご連絡頂きたい。

### 3. 幹事報告 (酒井一宏 幹事)

#### \*教育委員長の交代について

松野忠久教育委員長 (Sumitomo Corporation of Americas) の帰任に伴い、相澤会長の任命により伊藤嘉則氏 (Mitsubishi International Corporation) が 4 月より新教育委員長として就任することが本会議において承認された。

#### \*3 月度特別理事委員会ならびに特別常任委員会のメールによる決議報告 ～大寒波に係る救済基金への寄付について

2 月に米国南部を襲った大寒波の被害を受け、当会では会員企業や会員個人より寄付を募り、Houston Harris County Winter Storm Relief Fund に対して USD25,000 の寄付を実施すること、またそれに伴う修正予算につき、メールによる特別理事委員会ならびに特別常任委員会にて諮り、賛成多数をもって承認された。寄付の目標額に満たない場合は、その差額を商工会会計より支出することとし、保守的に USD25,000 の支出を修正予算に計上する。他方、寄付の合計が USD25,000 を超えた場合は、その全額を寄付することとする。寄付金額は、1 口\$100 と設定し、4 月 9 日を期限として募金活動を実施する。会員の皆様には、ぜひご協力いただきたい。

尚、本議案を検討した事由は、下記の通り。

・人道的な観点から地域コミュニティへの貢献をする必要があり、かかる支出が商工会の定款に定める活動趣旨に照らして妥当と判断されること。また、COVID-19 やハリケーンハービーの災害時においても同様の対応を実施しており、平仄がとれていること。

・Houston Harris County Winter Storm Relief Fund はヒューストン市長とハリス郡長官が主導しているファンドであり、ファンドを通じた支援への参加により商工会として被災された方に早期に支援を届けるとともに、当地のコミュニティや政府組織に貢献ができること。

### 4. 会計幹事報告 (沖 隆士 会計幹事)

#### \*第一次修正予算について【承認事項】

2 月度理事委員会のスポーツ委員会の報告を受けて、新規イベントとしてバーチャル・ウォーキング大会が 5 月に開催されるにあたり、参加費収入 (\$2,505) とアプリ代等の経費支出 (\$6,005) を見込んでいる。これに伴い、今般、収入側と支出側に新たな項目として修正予算を追加申請する。一方、寒波関連の寄付については、3 月度特別理事委員会ならびに特別常任委員会において承認を受け、Houston Harris County Winter Storm Relief Fund への寄付見込み (\$25,000) が生じたことに伴い、今般、追加申請するものである。当決議事項については、賛成多数にて本

会議にて承認され、4月度常任委員会にて追認手続きを行うこととする。

## 5. 他団体・日本庭園関連報告 (名川 譲 特命理事)

3月13日(9時半から5時間)に、日米協会と総領事館共催の日本語スピーチコンテストのテキサス州大会が、31度目にして初めてオンライン形式で開催された。ヒューストンをはじめ、ダラス、サンアントニオ、オースティンの各部門の代表が州レベルで競いあった。出場者32名、審査員6名、ボランティア4名、ゲストスピーカー3名、YouTubeによる視聴者199名、総勢244名の参画となった。商工会が300ドル相当の賞品を協賛する課題詩(朗読)部門では、サンアントニオの代表者が受賞した。当会からは、根本生活情報委員長が審査員としてご参加くださり、御礼申し上げます。同大会は、通常はライス大学で開催されており、来年は対面で行えることを期待し、引き続き商工会皆様の参加とご協力をお願い申し上げます。

## 6. 委員会・部会関連事項

### ①企画・調査委員会 (桜内政大 企画・調査委員長)

#### \* 第一回宇宙セミナー開催結果報告

2月28日(日)にJAXAのヒューストン駐在員事務所スタッフ一同を講師としてお迎えし、「野口/星出宇宙飛行士の米国新型宇宙船搭乗と国際宇宙ステーション長期滞在について」というテーマでウェビナーを開催した。今回は、ウェビナーの利を活かし、対象を当会会員から当地の日本人コミュニティーや全米他都市の商工会会員に拡大し、登録者数522名(当日参加338名)となった。また、同セミナーは、従来、会員限定の特別なイベントに位置付けられていることから、当会会員に限り、JAXA提供の宇宙情報に関するリンク集を掲載するほか、事後のアンケート調査にご回答頂いた方々の中から抽選で当会提供のCrew1キャップ(10名様)と特別宇宙賞のスペースペン(2名様)を進呈した。録画動画については、商工会サイトにリンクを掲載し、既に視聴1万5,214回(3/15時点)と全米から高い関心を示して頂いていることから、次回以降もウェビナー型の場合は同様の形式で開催することを検討したい。

#### \* 第3回 COVID-19 オンライン勉強会開催案内

3月28日(日)午後2時より、昨年のオンライン勉強会で講師をしてくださったテキサスメディカルセンターの有志医師団の皆様主催で第3回の勉強会を開催する。当会は、今回も共催の一団体として参加させて頂く。ご案内はすでに事務局を通して、当会会員、補習校保護者やその他日系関連団体、並びに全米商工会宛に配信し、当会の常任委員からは、別途、事前質問を受け先生方にお届けした。今回は、ワクチン接種など、皆様の関心が高い内容を中心に解説していただくので、ぜひご参加いただきたい。尚、勉強会講師の先生方6名に、過去3回の勉強会および各種相談への対応御礼として、お一人\$500の謝礼(最大計\$3,000)をお届けすることを当会議で提案し賛同を得たので、先生方のご意向を確認の上、実施することとなった。

### ②スポーツ委員会

#### \* バーチャル・ウォーキング大会開催案内 (本郷 徹 副会長兼スポーツ委員長)

3月9日にバーチャル・ウォーキング大会のご案内を会員各位宛にメール配信し、商工会のホームページやガルフストリーム等を通して周知している。同イベントは、5月の一ヶ月間に亘り開催し、各自ウォーキングスマートフォンアプリで歩数を計測、5~20人のチームを編成して、期間中のチーム平均歩数と個人の合計歩数で競争する。お申込みの締め切りは、3月末となっているので、お声掛けにご協力いただくとともに、奮ってご参加いただきたい。

### ③生活・情報委員会 (根本真樹子 生活・情報委員長)

#### \* 第1回古本市の開催結果報告

3月6日(土)、9日(火)~13日(土)の6日間に亘り、三水会センター会議室にて完全予約制で古本市を開催し、計181名の来場者をお迎えした。コロナ対策として来場者には検温や使い捨て手袋の着用等にもご協力いただき、滞在時間は一組につき30分とした。今回の収益(計\$1,385)は、生活情報委員会傘下の活動や図書購入、図書館やキッズルームの備品購入等に使用させて頂く。事前準備や当日のボランティアにご登録くださった皆様には、ご協力に深く感謝申し上げます。

#### \* 図書館の棚卸について

3月15~26日の期間に隔年で行っている図書館の棚卸作業に取り組んでいる。この期間中、図書館は閉館し、図書の返却のみ受け付ける。図書館の蔵書約3万冊を確認する大作業となるため、春休み中の中高生や会員の皆様がボランティアとしてご登録くださっており、ご協力に感謝申し上げます。

**7.事務局関連事項**（小林浩子 事務局長）

**\*会員消息**

2021年3月15日現在、名誉会員10名、正個人会員数705名、(正団体会員数113社)、準会員数47名で、総会員数は762名となっている。

以上。